

第 2 次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（平成 30 年度）

1 取組状況について

全 20 項目の事業について、平成 30 年度の取組実績（見込）等をもとに、各事業における成果指標の目標値（平成 32 年度）に対する進捗状況を評価した。

2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	5	5	1
医療	1	0	0	1
福祉	1	1	0	0
教育	1	1	0	0
産業振興	6	2	4	0
環境衛生	1	0	1	0
その他	1	1	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	4	1	0
道路等の交通インフラの整備	1	1	0	0
地域内外の住民との交流・移住促進	3	2	1	0
その他	1	1	0	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	1	2	1
宣言中心市等における人材の育成	1	1	0	0
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1	0	0	1
その他	2	0	2	0
合計	20	10 (50%)	8 (40%)	2 (10%)

※（％）は、全体のうち、A、B、Cと評価された事業の割合

3 連携する具体的な取組事業の実績について

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

■ 医療

① 地域医療の連携（1市2町）

事業名	徳島市民病院との連携強化事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町				
取組内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
成果指標	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	12人	目標値(32年度)	15人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
	3人	3人	3人		
進捗状況	合同研修会開催等により連携3施設の連携強化に努めたが、連携施設から徳島市民病院への紹介患者数の増加にはつながらなかった。連携施設において他病院への紹介が必要となった患者の中で病状その他の理由により徳島市民病院への紹介が少なかったものと思われる。				進捗評価
					C
今後の方向性	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取り組みをさらにアピールしていく。				
【平成30年度の取組実績（見込）】 ○紹介患者に対する医療の提供 ・徳島市民病院において連携施設から紹介を受けた患者を治療した。 [患者数] 3人（勝浦病院2人、上勝診療所1人） ○医療従事者への研修の実施 ・連携3施設（徳島市民病院、勝浦病院及び上勝診療所）による合同研修会を実施（平成31年2月21日）。 徳島市民病院の医療従事者を連携施設に講師として派遣し、講演会や症例検討会を行う。					

■ 福祉

② 子育て環境の充実（2市8町1村）

事業名	病児保育事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。					
成果指標	病児保育利用延べ人数（年間）					
	当初値(平成27年度)	5,933人	目標値(32年度)	9,500人		
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		7,283人	8,475人	8,500人		
進捗状況	平成29年度と同様の利用者数が見込まれ、圏域内での事業の浸透が図られている。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	引き続き圏域内での広報活動を促進し、利用者の増加を図る。					

【平成30年度の実績（見込）】

○病児保育事業の広域利用を、徳島市、小松島市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の11市町村で実施した。

◎広域利用可能施設

- ・藤岡クリニック（徳島市）
- ・田山チャイルドクリニック（徳島市）
- ・愛育小児科（徳島市）
- ・えもとこどもクリニック（徳島市）
- ・ひなたクリニック（徳島市）
- ・末広ひなたクリニック（徳島市）
- ・徳島赤十字乳児院（小松島市）
- ・伊勢内科小児科（石井町）
- ・富本小児科内科（藍住町）
- ・北島こどもクリニック（北島町）

○広報用リーフレットを22,000部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布した。

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（1市2町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業					
連携市町村	徳島市・石井町・北島町					
取組内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、連携市町村立図書館の相互利用を実施する。					
成果指標	相互利用登録者数（累計）					
	当初値(平成27年度)	2,073人	目標値(32年度)		3,400人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		2,357人	2,594人	2,870人		
進捗状況	取組内容のとおり着実に事業を行った結果、目標値に向けて順調に実績を残すことができる見込みである。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	取り組みを着実に続けていくことにより、安定した実績を残す。					
【平成30年度の実績（見込）】						
○徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を実施した。						
○図書館相互利用状況（4～11月）						
	新規登録者 (人)	居住地別				
		徳島市民	北島町民	石井町民		
徳島市立図書館	82	—	38	44		
北島町立図書館	102	102	—	0		
合計	184	102	38	44		

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

事業名	観光開発・観光誘致事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。					
成果指標	連携市町村観光客入り込み数（年間）					
	当初値(平成27年度)	6,833千人	目標値(32年度)		7,000千人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		6,666千人	6,443千人	6,500千人		
進捗状況	平成30年度から開始した圏域市町村を含む「徳島東部地域DMO」の様々な取り組みが少しずつ効果につながっている。そのほか、広域観光の一体的なPR活動にも引き続き取り組んだ。				進捗評価 B	
今後の方向性	圏域の認知度アップに向けた積極的な情報発信を行うとともに、魅力的な観光コンテンツの創出に取り組むことで、観光消費額の増加や住民愛着度の向上を図る。また、引き続き、圏域の市町村が一体的かつ効果的なPR活動を行い、市町村間の交流人口の拡大及び観光誘客促進に努める。					

【平成30年度の実績（見込）】

○観光地域づくりの推進

- ・平成30年4月2日から、徳島東部地域DMO（観光地域づくり推進法人）の業務を開始し、観光データの収集・分析、情報発信ツールの構築、商品造成に向けたモニターツアーの実施など、広域連携により戦略的に誘客するための様々な取り組みを実施した。

◇8月28日 第1回協議会「イーストとくしま誘客ラボ」

◇11月3日～平成31年1月20日 「！」ぎっしり。徳島東部エリア満喫モニターツアー

◇9月26日、10月25日 情報発信勉強会

◇5月15日～16日、9月13日～14日 東京「オール徳島観光商談会」

◇5月30日 大阪「JR四国商品説明会」

◇11月13日～14日 愛媛「瀬戸内への観光富裕層旅客会社等との意見交換会」

◇9月4日～8日 台湾「台湾3都市におけるセミナー・個別相談会」

◇11月11日～14日 香港「日本の秋祭りin香港 徳島インバウンド商談会」

◇平成31年1月18日～20日 台湾観光キャンペーン

（次のページにつづく）

【平成30年度の取組実績（見込）】（つづき）

- ◇ホームページのリニューアル
- ◇WEB プロモーション（WEB マガジンを SNS 等から発信）
- ◇観光アンケートの実施

○広域観光の一体的な PR 活動

- ・広域観光案内ステーション事業
 - ◇徳島駅前の拠点施設において、連携市町村の観光・宿泊案内、物産販売を行うとともに積極的な情報発信を行った。
 - ◇圏域の各市町村の観光拠点で、連携市町村の観光情報を提供するなど、連携して PR に取り組んだ。

○観光レンタサイクル推進事業

- ・徳島市を訪れる観光客への手軽な移動手段として活用できる電動アシスト付自転車を徳島駅前貸し出し、市内観光や連携市町村への移動手段として活用を図った。また、圏域内に充電施設を確保し、移動エリアの拡大を図った。
[貸出台数] 2,440 台 ※11 月末現在
- ・電動アシスト付自転車を活用した圏域内へのレンタサイクルツアーを実施し、レンタサイクルの活用推進と圏域内の観光 PR を行った。

○はなはるフェスタ開催費補助

- ・徳島市内の藍場浜公園・新町川公園一帯を会場に、4 月 21、22 日の 2 日間、阿波おどり、食、伝統文化等をテーマに開催された「はなはるフェスタ 2018」の事業費補助を通じて、市町村間の交流人口の拡大及び観光客誘致促進を図った。
[来場者数] 21 万人（2 日間）

○とくしま動物園リニューアル事業

- ・動物園の魅力向上のため、ミーアキャット舎等の新設を含むサバンナエリア改修工事を開始した。
- ・開園 20 周年を記念した「徳島東部地域定住自立圏無料招待券」を圏域内の各自治体の成人式で新成人に配布（約 4,000 枚）し、圏域住民の来園を促した。

○このほか、圏域の各市町村の、観光拠点の運営やにぎわい創出のためのイベント等を実施し、PR することで、圏域一帯としての魅力向上を図った。

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域内の観光案内や物産販売等を目的とする拠点施設において、農産物加工品等の販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、「とくしま食材フェア」の共同実施、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。				
成果指標	とくしまIPPIN店認定数（累計）				
	当初値(平成27年度)	202店	目標値(32年度)		210店
	実績(年度)	H28 204店	H29 209店	H30(見込) 211店	H31 H32
進捗状況	とくしまIPPIN店を巡るスタンプラリー等の認知度向上のための取り組みにより、目標値を達成することができた。そのため、平成31年度から目標値(32年度)を215店に修正する。				進捗評価
					A
今後の方向性	各種広報媒体によるPR活動を積極的に行い、とくしまIPPIN店認定の拡大に取り組み、地産地消の推進を図る。				

【平成30年度の取組実績（見込）】

○農産物魅力発信事業

- ・広域観光案内ステーションにおいて圏域市町村の特産品や農産物加工品などを展示・販売し、広く市民や県内外の観光客に対して良さや魅力をPRした。また、各市町村の農産物や特産品等の認知度向上を図るため、県外向けのパンフレットを作成し、配布した。

○地産地消推進事業

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、とくしまIPPIN店でのスタンプラリーを実施するなど、各種広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで地産地消の推進を図った。
- ・11月25日、12月30日に両国橋西・東公園で「とくしま食材フェア2018」を開催した。「とくしまマルシェ」と同時に開催することにより誘客を促した。
[来場者数] 約16,000人（2日間）

○また、圏域の各市町村が、農水産物のブランド力向上のための取り組みを行ったほか、販売促進のための取り組みを実施し、圏域内での地産地消を推進した。

⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町				
取組内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。				
成果指標	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	68人	目標値(32年度)		80人
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
		69人	57人	77人	
進捗状況	セミナーのPRなど積極的に広報活動を行ったことで、参加者数は前年度より増加となり、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価
					B
今後の方向性	引き続き、セミナー実施により、6市町と連携してコミュニティビジネスで起業・創業する人の知識習得や人的交流などの支援を行いたい。				
<p>【平成30年度の実績（見込）】</p> <p>○コミュニティビジネスの立ち上げや、起業、独立を目指している人を対象にしたコミュニティビジネス創業セミナーを開催した。</p> <p>また、セミナー終了後にも起業に関する相談等起業支援事業者間の連携体制を周知した。</p> <p>【セミナーの内容】</p> <p>第1回 平成31年1月16日：思いの種を見つけよう！</p> <p>第2回 平成31年1月23日：思いの種をまこう！</p> <p>第3回 平成31年1月30日：思いの種を芽吹かせよう！</p> <p>第4回 平成31年2月6日：思いに花を咲かせよう！</p>					

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

事業名	企業誘致活動推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町				
取組内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。				
成果指標	誘致した企業数（累計）				
	当初値(平成27年度)	26社	目標値(32年度)		56社
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
		30社	33社	40社	
進捗状況	企業誘致については、現在空き用地がないため、工場等の建設は難しいため、貸しオフィスを活用した情報通信関連事業（コールセンター）等の誘致に努めた。				進捗評価 B
今後の方向性	企業は積極的な採用を予定しているものの、人材確保に苦慮しているため、就職マッチング等人材確保支援に取り組み、誘致した企業の撤退防止に努める。				
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○各自治体の企業誘致HPの相互リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町単独だけではなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。 <p>○企業誘致の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連事業所（コールセンター）等、雇用創出効果の高い企業を誘致し、近隣市町村を含めた雇用拡大を図った。 					

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。					
成果指標	徳島ひょうたん島水都祭来場者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	3万人	目標値(32年度)		5万人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		4万人	1万5千人	4万人		
進捗状況	期間中は天候には恵まれたが、猛暑の影響で来場者は思うほど伸びなかった。特に体験事業において暑さが影響した。				進捗評価 B	
今後の方向性	県外に対するPRが不十分であるため、これまで以上に「水都とくしま」の全国的なイメージアップを図り、成果指標の達成を目指す。 また、夏の屋外事業であるため、暑さ対策が今後の検討課題である。					

【平成30年度の実績（見込）】

- 「徳島ひょうたん島水都祭2018」の開催（7月13日～16日）
 - ・水都・徳島の魅力を全国に発信するため、徳島市中心部にある「ひょうたん島」周辺を舞台に「川いいね！とくしま。」をブランドメッセージとして水とともに発展した徳島市の魅力を体感できる様々なプログラムを実施する「徳島ひょうたん島水都祭2018」を開催した。
- ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業
 - ・4月にイオンモール株式会社から、船に乗降するための浮棧橋一式が徳島市に寄贈されたことから、この浮棧橋を川の停留所「イオンモール前」として、「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」の目的である川から人の流れを生み出し、にぎわいにつなげてくための活用方法について検討した。
- 鉄道高架関係事業
 - ・鉄道高架事業と一体的に徳島駅周辺を整備することで、中心市街地におけるにぎわいの創出やまちの魅力づくりを可能とする「徳島駅周辺まちづくり計画」を6月に策定した。その後、計画において前提としていた都市機能の建設候補地の変更により、計画内容の一部修正を行った。
- 新ホール整備事業
 - ・新ホールの整備方針において、建設予定地を文化センター敷地に決定するとともに、整備内容や建設工事費見込、事業手法などについての方針を定めた。

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。					
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（H28～H32 累計）					
	当初値(平成27年度)	—	目標値(32年度)		30,000m	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		18,617m	20,617m	24,847m		
進捗状況	目標値に向けて順調に進捗している。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	引き続き、侵入防止柵の設置について、効率的な設置に向けた情報収集や、集落での説明会等を開催し、地域で一体となった鳥獣被害対策を推進していく。					
<p>【平成30年度の実績（見込）】</p> <p>○圏域市町村との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7～9月 ニホンザル対策として、徳島市、佐那河内村、神山町の担当で協議の場を設け、県の農林水産総合技術支援センターにてモニタリング中のニホンザルの群れの動向について情報交換を行った。 ・10月 東部地域鳥獣被害対策連絡協議会（県が開催）において、近隣市町村と、事例研究を行い、被害対策の現状について情報交換を行った。 						

■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

事業名	火葬場整備・利用促進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
取組内容	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
成果指標	連携市町村住民利用件数（年間）				
	当初値(平成27年度)	(供用前)	目標値(32年度)		700件
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
(供用前)		514件	620件		
進捗状況	新火葬場の駐車場が完成したほか、広域利用についても、引き続き広報媒体等による周知を行っており、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価
					B
今後の方向性	施設の適正な管理運営に努めるとともに、引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図っていく。				
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○火葬場整備・利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松島市において、駐車場整備工事が竣工し、施設の全面供用が開始された。 ・広域利用により圏域住民の利便性を高めるために、必要な措置を講じた。 					

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取り組み拡大を図る。				
成果指標	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）				
	当初値(平成27年度)	461部	目標値(32年度)		1,000部
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
300部		530部	620部		
進捗状況	小学校等での環境教室や環境イベントへの参加家族に「こどもエコチャレンジノート」を配布し、地球温暖化対策の普及啓発に努めた。				進捗評価 A
今後の方向性	出前環境教室など、子どもたちと一緒に環境について考える機会に継続して「こどもエコチャレンジノート」を活用する。				
<p>【平成30年度の実績（見込）】</p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町において、職員に対してマイカー通勤を控えるよう呼びかけるとともに、庁舎内の節電、不要な照明の消灯に努めた。 <p>[実施自治体] 徳島市、勝浦町、上勝町、石井町、松茂町、藍住町、板野町、上板町</p> <p>○環境学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こどもエコチャレンジノート」を活用し、各市町の小学校等において環境学習を実施した。 <p>[実施自治体] 徳島市、石井町、松茂町、藍住町、板野町、上板町</p> <p>○エコアクション21の認証取得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> エコアクション21の説明会や広報を実施し、普及促進に努めた。 <p>[実施自治体] 徳島市、勝浦町、上勝町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町</p>					

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑫ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	1回	目標値(32年度)		1回
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
	1回	1回	1回		
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できる見込みである。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し、各市町村の連携を図る。				
<p>【平成30年度の取組（見込）】</p> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者部会での情報交換を行った（平成31年3月）。 					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

事業名	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町村でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
成果指標	相互利用回数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(32年度)	5回		
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		(未実施)	2回	3回		
	参加者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(32年度)	200人		
実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32	
	(未実施)	80人	80人			
進捗状況	用具・備品の相互利用を2回実施した。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	連携自治体とニュースポーツの普及について、方向性を確認し、事業拡大を図る。					
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○ニュースポーツ用具・備品の相互利用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島市が所有するカローリングの用具を上勝町（6月）、北島町（12月）に貸出を行った。 ・北島町が所有するスポーツ吹き矢の用具を上勝町（平成31年2月）に貸出を行った。 						

⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取り組み状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。				
成果指標	経営力向上支援事業参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	51人	目標値(32年度)	50人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
50人		33人	89人		
進捗状況	徳島県が開催する農業技術に関する講習会を活用し、新規就農者等の支援を行った。				進捗評価
					A
今後の方向性	今後も県の講習会等を活用するとともに、若手農業者の自主的活動を支援していく。				
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○新規就農者経営力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年退職者等を含む新規就農者の育成のため、徳島県が開催する講習会を活用し、栽培技術の向上や経営安定化を図り、地域農業の担い手として定着できるよう努めた。 ・若手農業者には、青年農業者や関係機関と連携し、生産・経営等の技術習得ための、人材ネットワークの拡大等を支援した。 <p>○石井町藤の里いきがい農園事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井町藤の里いきがい農園として遊休農地を活用し、住民に農作業の場を提供した。 					

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

事業名	移住・長期滞在推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町				
取組内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。				
成果指標	移住者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	54人	目標値(32年度)		164人
	実績(年度)	H28	H29	H30(上半期)	H31
		127人	131人	140人	
進捗状況	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組み、昨年度を大幅に上回るペースで移住者数（※9月末現在）が伸びている。				進捗評価
					A
今後の方向性	移住希望者の知りたい居住・観光情報等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。				

【平成30年度の実績（見込）】

○関係団体との連携

- ・県及びふるさと回帰推進協議会等との連携により、情報発信を行った。

○OUIターン促進事業により、移住促進を図った。

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業

・神山町

- ◇「神山町移住交流センター」を運営し、移住支援のノウハウ、町内外に広がるネットワークを活かし、ワンストップサービスによる、きめ細やかなサービスを提供した。
- ◇空き家情報データベースの活用した移住者向け住宅情報の提供を行った。

・勝浦町

- ◇移住希望者に対して、空家バンクの利用者登録や「トライアルハウス坂本家」の利用を促した。
- ◇移住フェア等に出展しPRを行った。

■ その他

⑩ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業				
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(32年度)		2回
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
1回		2回	2回		
進捗状況	標的型攻撃メール訓練の徳島市での取組状況を各市町村と情報共有した。				進捗評価
					A
今後の方向性	セキュリティ強化対策についての情報共有を継続するとともに、自治体クラウド導入に係る課題や情報システムに関する最新技術の検討状況等の情報交換を推進する。				
<p>【平成30年度の実績（見込）】</p> <p>○標的型攻撃メールの徳島市の取組状況を各市町村と情報共有を図り、互いのセキュリティ強化に寄与できた。</p> <p>○連携市町村の職員を対象とした、オープンデータ研修会を実施した。</p>					

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

■ 宣言中心市等における人材の育成

⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。				
成果指標	研修会開催回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(32年度)	2回	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
	3回	3回	2回		
進捗状況	成果指標の目標を達成できている。また、研修後アンケートから、研修会のテーマについて約9割が満足しており、圏域自治体職員の意識改革と資質向上を図ることができている。				進捗評価
					A
今後の方向性	多様な行政課題を効果的・効率的に処理できる職員力の強化に向け、随時、研修の内容等を検証し、計画的な人材育成に取り組む。				
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○徳島市において次の合同研修会を実施した。</p> <p>①「意識改革講座Ⅱ」実施（7月5日実施、徳島市役所13階大会議室） 講師 有限会社ヒューマン・ギルド 代表取締役 岩井 俊憲 氏 内容 アドラー心理学に基づく『勇気づけ』コミュニケーション講座 [参加者]124人（うち近隣市町村4人）</p> <p>②「防災対策講演会」実施（平成31年1月8日、徳島市役所13階大会議室） 講師 危機管理課 課長補佐 吉田 浩章 氏 内容 防災対策講演会 [参加者]95人（うち近隣市町村14人）</p>					

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。					
成果指標	外部人材活用件数（H28～H32 累計）					
	当初値(平成27年度)	—		目標値(32年度)	2件	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		0件	0件	0件		
進捗状況	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、活用には至らなかった。				進捗評価	
					C	
今後の方向性	他の圏域における先進事例を積極的に調査・研究し、新たな活用の検討及び実施を図る。					
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】 ○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。</p>						

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

事業名	行政運営に関する研究会開催事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
成果指標	研究会開催回数（年間）					
	当初値(平成27年度)		2回	目標値(32年度)		
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32
		2回	2回	1回		
	研究会参加自治体数（1回当たり）					
	当初値(平成27年度)		11市町村	目標値(32年度)		12市町村
実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31	H32	
	10市町村	10市町村	10市町村			
進捗状況	目標達成に向け概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	圏域自治体及び担当課と連携して研究会を開催し、圏域自治体間の情報の共有化、運営機能の強化やネットワーク構築・連携強化を図る。					
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いものをテーマにし、新たな課題の解決や制度への対応に向けて、圏域自治体及び担当課と連携して研究会を開催した。また、今後の事業の参考とするため、これまでに実施した研究テーマ等に関するアンケートを圏域自治体に対して実施した。</p> <p>① 第1回研究会「働き方改革について」 （11月21日、徳島市役所13階 第一研修室） [参加者] 23人（うち近隣市町村18人） [参加自治体数] 10市町村</p> <p>② 「行政運営に関する研究会についてのアンケート」 （実施期間 11月27日～12月7日）</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島市市民活力開発センターが圏域全体で助言・相談等を行い、地域の人と地域づくり活動に関わった人との交流を促進する。また、各地域での協働事業の創出を支援するとともに、意欲的な市町村に対し重点的な支援を行う。				
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	487人	目標値(32年度)	1,000人	
	実績(年度)	H28	H29	H30(見込)	H31
		919人	486人	384人	
進捗状況	前年度に比べて参加者数が減少したのは、クリスマスイブにプレゼントを届ける事業で申込み世帯数が減少したためである。しかし、この事業自体は人気があり、安定した参加者数を維持している。				進捗評価
					B
今後の方向性	好評な事業を継続するとともに、支援ニーズの把握に努め、意欲的な市町村に対し重点的に支援を行う。				
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○徳島市市民活力開発センターの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の市町村担当者個別にヒアリングを行い、支援ニーズの把握に努めた。 ・貸会議室や貸出機材の利用、情報提供や広報支援など、センター機能の広域利用を図った。 ・地域づくり活動団体の育成及び支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇県内大学生などと協働して取り組む、「サンタがおうちにやってくる！」を実施した。幼児～小学生くらいの子どものいる家庭から事前にクリスマスプレゼントを預かり、サンタに扮装した大学生ボランティアがクリスマスイブに届けに行った。 [参加者数] 352人 ◇徳島市退職校長会「遍路遠足サポート」への支援を行った。後継者育成、大学生の参加促進に関する支援を行った。 [参加者数] 25人 ◇スキルアップ講座「NPO法人と一般社団法人の違い」を藍住町で開催した。 [参加者数] 7人 					

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業
連携市町村	全市町村
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 （形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組みである。）
<p>【平成30年度の取組実績（見込）】</p> <p>○定住自立圏構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村のホームページを通じ、取組状況などを周知した。 ・徳島東部地域定住自立圏PR動画を圏域市町村のホームページで配信した。 	